



図書だより

平成 28 年 5 月 11 日

京都市立川岡小学校

図書部

5月号

木々の緑があざやかな季節になりました。図書室も開館して一カ月がたちました。みなさんはどのような本を読みましたか。今年もたくさんの本を読んでくださいね。

5月31日(火) 中間休み

「かわおかぶんこ」で、図書ボランティアさんによる絵本の読み聞かせがあります。とっても楽しい絵本ですよ。ぜひ聞きにきてくださいね。



うちのひととよもう!

川岡小学校には、図書室が2部屋あります。1部屋は「リサーチルーム」といって、主に授業で使う本が配架されています。「みやこ柚木(そまぎ)」で作られた椅子と机が置いてあり、あたたかい雰囲気です。学習したり本を読んだりすることができます。

「柚木(そまぎ)」というのは、柚山(そまやま:材木用の樹木の茂った山)から伐り出した材木という意味です。日本には律令時代から「〇〇柚」の名称をもって呼ばれた地域があり、王宮や都、貴族、社寺等の建築用材の供給地でした。京都では桂川上流の「山国柚」(現:右京区京北地域)や「大布施柚」(現:左京区花背)などが知られています。「みやこ柚木」とは、京都市が進めている木材の「地産地消」です。京の都の造営にも大きく寄与した京の柚山の木材を、現代の京都市民のみなさんに使ってほしいという思いが込められているそうです。

もう1部屋は「にじいろ文庫」です。にじいろ文庫は絵本や文学作品が配架されています。丸いテーブルが置いてあり、そこで本を読むことができます。また、部屋にはドアがなく、開放的です。黒板には「おすすめの本」の読書絵はがきががざってあり、本を選ぶ時の参考になっている人もいます。

また、川岡小学校には、たくさんの図書ボランティアの方がかかわってくださっています。月に一度、読み聞かせのボランティアさんによる絵本の読み聞かせが開催されています。毎週火曜日には、地域の女性会の方がにじいろ文庫の整理・整頓、本の修繕などをしてくださっています。「先生、人気のある本はすぐぼろぼろになりますね。新しい本もたくさん増えて、楽しみによせてもらっています。」と、女性会の方がおっしゃっていました。そして今年度は、司書の先生も週に3日きてくださり、子どもたちの学習を支援してくださいます。

このように、川岡小学校の図書室は、いろいろな方に支えられています。5、6年生の図書委員さんたちも、毎日ががんばって仕事をしています。

「本を読むことが苦手だな。」と思う人もいるでしょう。「どんな本を選んだらいいかわからないな。」と悩んでいる人もいるかもしれません。そんなときは、ぜひ図書室に足を運んでみてください。自分が興味を持ってそうな本を、いろいろさがしてみてください。本はたくさんあります。きっと自分の好きな一冊が見つかると思います。

おすすめの本

「ゴムあたまポンたろう」

長 新太



ポンたろうは、頭がゴムの男の子。山にぶつかって、ボールのように空をとんでいきます。

「トイレットペーパーおりがみ」

著：おりがみサークル orist

よく三角におってあるものは見ますが、この本は、うさぎやハート、ネクタイなど、色々なおもしろいおりがみのついでに、

本をばらばらめくるだけでも、楽しいですよ。



「754 ト」のたなにあります。

「光れ！ 泥だんご」

著：加用 文男

手ざわりはつるつるしていて、ぴかぴか光るどろだんごの作り方をしょうかいしています。

「376 カ」のたなにあります。おもしろいですよ。

「凧九郎」 著：吉橋 通夫

少年剣士・凧九郎は、英国大使オールコック護衛の職を得る。そこで彼は勝麟太郎と出会い、亡き父が幕府の密命をおびて働いていたことを知る。

時代小説です。歴史を学習する、高学年におすすめの本です。ぜひ読んでみてください。



「京都えほん」 よしのぶ もとこ

バスやタクシー、電車など京都の街を走る乗り物や、子どもも大好きなお祭り、京都の町の様子をかわいらしい絵で紹介しています。



科学読み物を読もう！

本には、「小説・物語」「絵本」など、いろいろな種類があります。今日は、「科学読み物」という種類の本をしょうかいします。

「科学読み物」は、「動物や生き物などをかんさつしたり、実験したりしたことを書いた本」のことです。とくに有名な本は「ファーブルこんちゅう記」や「シートン動物記」などです。

ほかにも、おもしろい本がたくさんありますので、ぜひ、リサーチルームでさがしてみてくださいね。